

日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

2025年度（2026年3月期）

1. 決算概要

- 1-1. 2025年度決算
- 1-2. セグメント別実績
- 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
- 1-4. セグメント情報詳細

2. 2026年度業績予想

- 2-1. 2026年度業績予想
- 2-2. セグメント別予想
- 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
- 2-4. セグメント情報詳細

3. 主な指標

- 3-1. 経営目標
- 3-2. BS項目
- 3-3. CF項目

1. 決算概要

1-1. 2025年度 決算

単位：百万円

	2025年度 実績	2024年度 実績	前期比増減	前期比
売上高	554,251	530,878	+23,373	104.4%
海外売上高比率	29.7%	26.1%	—	—
営業利益	17,027	19,278	△2,251	88.3%
売上高営業利益率	3.1%	3.6%	—	—
経常利益	16,030	18,089	△2,058	88.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,988	12,850	+11,137	186.7%

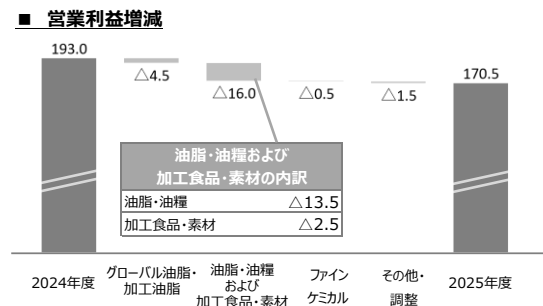
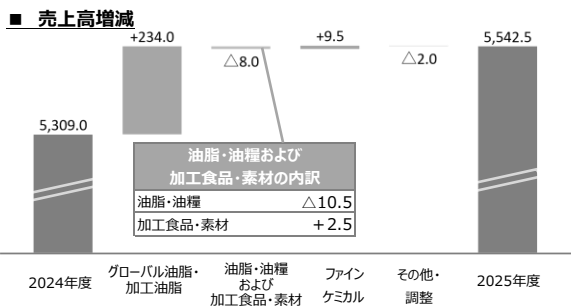
1-2. セグメント別実績

単位：百万円

	2025年度 実績	2024年度 実績	前期比増減	前期比
売上高	554,251	530,878	+23,373	104.4%
グローバル油脂・加工油脂	138,848	115,418	+23,429	120.3%
油脂・油糧および 加工食品・素材	389,586	390,407	△820	99.8%
油脂・油糧	311,544	312,623	△1,079	99.7%
加工食品・素材	78,042	77,783	+258	100.3%
ファインケミカル	15,509	14,545	+964	106.6%
その他・調整	10,307	10,506	△199	98.1%
営業利益	17,027	19,278	△2,251	88.3%
グローバル油脂・加工油脂	4,766	5,234	△468	91.1%
油脂・油糧および 加工食品・素材	11,124	12,735	△1,611	87.3%
油脂・油糧	6,706	8,068	△1,361	83.1%
加工食品・素材	4,418	4,667	△249	94.7%
ファインケミカル	1,559	1,590	△30	98.1%
その他・調整	△422	△281	△140	—

1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円



- <売上高増減要因>
- グローバル油脂・加工油脂
 - ・販売数量増加（↑）
 - ・販売単価上昇（↑）
 - 油脂・油糧および加工食品・素材
 - （油脂・油糧）
 - ・ホームユース製品を中心とした販売数量減少（↓）
 - ・油脂、加工油脂の販売単価上昇（↑）
 - ・ミールの販売単価低下（↓）
 - （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの販売単価上昇（↑）
 - ・チョコレートの販売数量減少（↓）
 - ファインケミカル
 - ・国内での化粧品原料の販売数量増加（↑）

- <営業利益増減要因>
- グローバル油脂・加工油脂
 - ・粗利単価向上（↑）
 - ・パーム油取引の時価評価損益による影響（↓）
 - 油脂・油糧および加工食品・素材
 - （油脂・油糧）
 - ・油脂コスト上昇に伴う粗利単価低下（↓）
 - ・ホームユース製品を中心とした販売数量減少（↓）
 - （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの販売数量減少および原価上昇（↓）
 - ・MCTの原価上昇による粗利単価低下（↓）
 - ファインケミカル
 - ・国内での化粧品原料の販売数量増加（↑）
 - ・海外子会社での販売数量減少（↓）

1-4. セグメント情報詳細

グローバル油脂・加工油脂

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ISFグループ	164,942	+24,382	△434	・販売数量増加およびパーム油相場上昇を背景とした販売単価上昇に加え、為替換算の影響もあり増収 ・粗利単価向上も、パーム油取引の時価評価損益（当期△11.5億円、前期+4.5億円）の影響により減益
欧州	54,785	△2,302		
アジア	93,757	+19,172		
その他地域	16,399	+7,512		
他子会社・連結調整	△26,094	△953	△34	
グローバル油脂・加工油脂 計	138,848	+23,429	△468	

補足：ISFグループの販売数量増減率
(増減率は前期比)

	販売数量増減率
ISFグループ	+8%
欧州	△7%
アジア	+14%
その他地域	+37%

補足：ISFグループに占める
チョコレート用油脂

売上高	販売数量増減率
61,258	+4%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	△10.5	チョコレート用油脂（+4.0）、その他（△14.5）
販売単価要因	+48.0	チョコレート用油脂（+25.0）、その他（+23.0）
コスト要因	△27.0	
原料代	△47.0	
製造費 他	+20.0	
販管費・その他	+1.5	
パーム油取引時価評価	△16.0	当期△11.5、前期+4.5
合計	△4.0	

油脂・油種および加工食品・素材の「油脂・油種」

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
油脂・加工油脂	205,042	+4,251	△1,473	・油脂、加工油脂の販売単価上昇およびミールの販売数量増加による増収要因はあるものの、ホームユースを中心とした販売数量減少およびミールの販売単価低下により減収 ・販売価格は上昇するも、油脂コスト上昇およびホームユースを中心とした販売数量減少に加え、販管費の増加もあり減益
業務用・加工用	124,828	+4,924		
ホームユース	64,079	△3,777		
加工油脂	16,134	+3,103		
ミール	75,320	△8,168		
子会社・連結調整	31,181	+2,837	+111	
油脂・油種 計	311,544	△1,079	△1,361	

補足：油脂・加工油脂の
販売数量の増減率

増減率（前期比）	
業務用・加工用	△0%
ホームユース	△9%
加工油脂	+1%

補足：油脂・加工油脂に占める
マーケティング・機能型製品

売上高
70,749

補足：油脂・加工油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
業務用・加工用・ホームユース	△25.0	
販売数量要因	△14.5	業務用・加工用（△0.0）、ホームユース（△14.5）
販売単価要因	+52.5	業務用・加工用（+51.0）、ホームユース（+1.5）
コスト要因	△45.0	
大豆	△7.5	C&F（+70.0）、為替（+7.0）、ミール販売（△84.5）
菜種	△63.0	C&F（△31.0）、為替（+6.5）、ミール販売（△38.5）
その他商品・製造費	+25.5	オリブオイルの原価低下等
販管費・その他	△18.0	
加工油脂	+10.5	
合計	△14.5	

油脂・油種および加工食品・素材の「加工食品・素材」

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	50,408	+2,496	△117	・販売単価上昇により増収 ・販売数量減少および原価上昇等により減益
機能素材・食品	8,033	+45	△116	・MCTの販売単価上昇により増収 ・販売数量減少および原価上昇により減益
MCT	6,120	+214		
調味料、大豆素材・食品	24,129	△2,662	△36	・醸造用ミールの販売数量減少および販売単価低下により減収減益
連結調整	△4,530	+379	+20	
加工食品・素材 計	78,042	+258	△249	

1-4. セグメント情報詳細

ファインケミカル

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	18,932	+1,092	△4	・国内での化粧品原料の販売数量増加により増収 ・海外での販売数量減少により減益
連結調整	△3,422	△128	△26	
ファインケミカル 計	15,509	+964	△30	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
12,540	+669

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2024年度	152.62	163.88	33.87	21.11	0.0095
2025年度	150.67	174.64	36.26	21.22	0.0091

2. 2026年度業績予想

2-1. 2026年度業績予想

単位：百万円

	2026年度 予想	2025年度 実績	前期比増減	前期比
売上高	590,000	554,251	+35,748	106.4%
営業利益	19,000	17,027	+1,972	111.6%
経常利益	17,000	16,030	+969	106.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,000	23,988	△11,988	50.0%

2-2. セグメント別予想

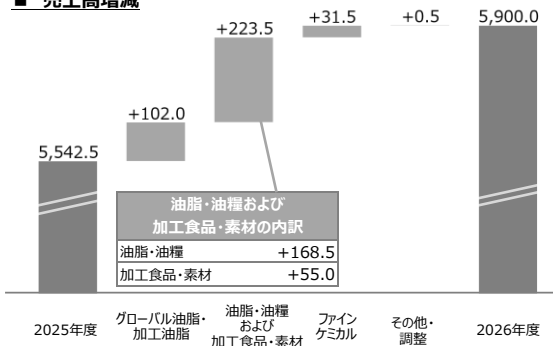
単位：百万円

	2026年度 予想	2025年度 実績	前期比増減	前期比
売上高	590,000	554,251	+35,748	106.4%
グローバル油脂・加工油脂	149,050	138,848	+10,201	107.3%
油脂・油糧および 加工食品・素材	411,950	389,586	+22,363	105.7%
油脂・油糧	328,400	311,544	+16,855	105.4%
加工食品・素材	83,550	78,042	+5,507	107.1%
ファインケミカル	18,650	15,509	+3,140	120.2%
その他・調整	10,350	10,307	+42	100.4%
営業利益	19,000	17,027	+1,972	111.6%
グローバル油脂・加工油脂	6,900	4,766	+2,133	144.8%
油脂・油糧および 加工食品・素材	10,600	11,124	△524	95.3%
油脂・油糧	7,600	6,706	+893	113.3%
加工食品・素材	3,000	4,418	△1,418	67.9%
ファインケミカル	1,850	1,559	+290	118.7%
その他・調整	△350	△422	+72	-

2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

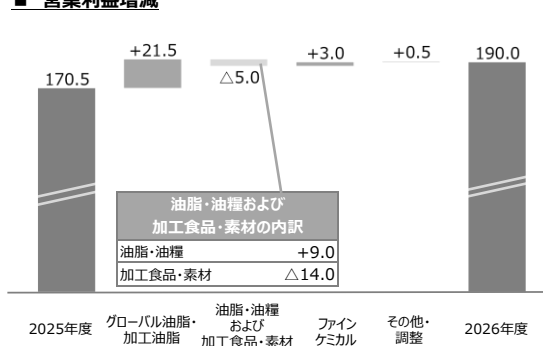
■ 売上高増減



<売上高増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・チョコレート用油脂の販売数量増加（↑）
 - ・販売単価上昇（↑）
- 油脂・油糧および加工食品・素材
 - （油脂・油糧）
 - ・油脂の販売数量増加（↑）
 - ・油脂、加工油脂、ミールの販売単価上昇（↑）
 - （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの販売数量増加（↑）
- ファインケミカル
 - ・国内外での化粧品原料の販売数量増加（↑）

■ 営業利益増減



<営業利益増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・チョコレート用油脂の販売数量増加（↑）
 - ・粗利単価向上（↑）
 - ・パーム油取引の時価評価による影響（↑）
- 油脂・油糧および加工食品・素材
 - （油脂・油糧）
 - ・油脂の販売数量増加（↑）
 - ・価格改定による利益単価向上（↑）
 - ・油脂コスト上昇および物流費等の販管費増加（↓）
 - （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの原価上昇による粗利単価低下（↓）
 - ・MCTの原価上昇による粗利単価低下（↓）
- ファインケミカル
 - ・国内外での化粧品原料の販売数量増加（↑）

2-4. セグメント情報詳細

グローバル油脂・加工油脂

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ISFグループ	180,018	+15,075	+2,277	・販売単価上昇およびチョコレート用油脂の販売数量増加に加え、為替換算の影響もあり増収 ・粗利単価向上およびチョコレート用油脂の販売数量増加により増益
欧州	62,995	+8,449		
アジア	99,259	+5,264		
その他地域	17,762	+1,362		
他子会社・連結調整	△30,968	△4,873	△144	
グローバル油脂・加工油脂 計	149,050	+10,201	+2,133	

補足：ISFグループの販売数量増減率
(増減率は前期比)

	販売数量増減率
ISFグループ	△5%
欧州	+6%
アジア	△10%
その他地域	△1%

補足：ISFグループに占める
チョコレート用油脂

売上高	販売数量増減率
75,684	+9%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	△2.5	チョコレート用油脂（+7.5）、その他（△10.0）
販売単価要因	+14.0	チョコレート用油脂（△1.5）、その他（+15.5）
コスト要因	△6.5	
原料代	+8.0	
製造費 他	△14.5	
販管費・その他	+4.5	
バーム油取引時価評価	+11.5	当期0.0、前期△11.5
合計	+21.0	

油脂・油種および加工食品・素材の「油脂・油種」

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
油脂・加工油脂	225,794	+20,752	+1,750	・油脂の販売数量増加に加え、油脂、加工油脂、ミールの販売単価上昇により増収 ・油脂の販売数量増加および粗利単価向上により増益
業務用・加工用	137,655	+12,826		
ホームユース	70,938	+6,858		
加工油脂	17,201	+1,067		
ミール	79,280	+3,959		
子会社・連結調整	23,324	△7,856	△856	
油脂・油種 計	328,400	+16,855	+893	

補足：油脂・加工油脂の
販売数量の増減率

増減率（前期比）	
業務用・加工用	+2%
ホームユース	+0%
加工油脂	+1%

補足：油脂・加工油脂に占める
マーケティング・機能型製品

売上高
78,681

補足：油脂・加工油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
業務用・加工用・ホームユース	+20.5	
販売数量要因	+8.0	業務用・加工用（+4.5）、ホームユース（+3.5）
販売単価要因	+134.5	業務用・加工用（+103.5）、ホームユース（+31.0）
コスト要因	△99.5	
大豆	△58.0	C&F（△56.5）、為替（△47.0）、ミール販売（+45.5）
菜種	△12.5	C&F（+7.0）、為替（△33.5）、ミール販売（+14.0）
その他商品・製造費	△29.0	製造費上昇
販管費・その他	△22.5	
加工油脂	△3.0	
合計	+17.5	

油脂・油種および加工食品・素材の「加工食品・素材」

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
チョコレート	55,025	+4,617	△1,655	・販売数量増加により増収 ・原価上昇による粗利単価低下により減益
機能素材・食品	8,398	+364	△63	・MCTの販売数量増加および販売単価上昇により増収 ・原価上昇による粗利単価低下に加え、販管費の増加もあり減益
MCT	6,594	+474		
調味料、大豆素材・食品	24,458	+328	+325	
連結調整	△4,332	+197	△24	
加工食品・素材 計	83,550	+5,507	△1,418	

2-4. セグメント情報詳細

ファインケミカル

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ファインケミカル製品	20,837	+1,905	+265	・国内外における化粧品原料の販売数量増加により増収増益
連結調整	△2,187	+1,234	+25	
ファインケミカル 計	18,650	+3,140	+290	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
14,615	+2,074

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2025年度	150.67	174.64	36.26	21.22	0.0091
2026年度	159.22	185.76	39.96	23.25	0.0093

3. 主な指標

3-1. 経営目標

	単位	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
売上高	百万円	530,878	554,251	590,000
営業利益	百万円	19,278	17,027	19,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	12,850	23,988	12,000
ROE	%	7.0%	12.1%	5.7%
ROIC	%	4.6%	4.5%	4.2%

3-2. BS項目

	単位	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
総資産	百万円	388,242	451,185	447,500
運転資本	百万円	149,307	167,291	177,500
自己資本	百万円	187,146	210,222	210,500
有利子負債	百万円	90,762	118,282	125,500
投下資本	百万円	277,908	328,504	336,000
自己資本比率	%	48.2%	46.6%	47.0%
ネットD/Eレシオ	倍	0.39	0.47	0.52

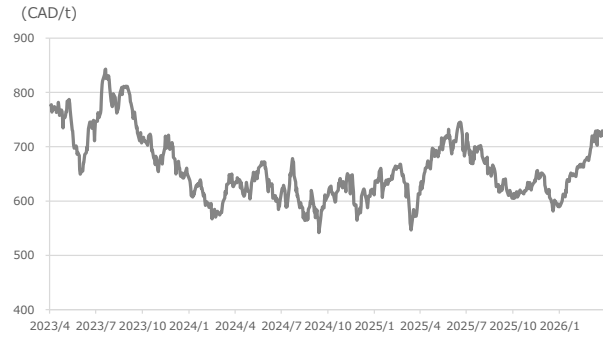
3-3. CF項目

	単位	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 予想
営業キャッシュフロー	百万円	21,166	10,460	22,000
投資キャッシュフロー	百万円	△ 9,590	△ 9,832	△ 32,000
財務キャッシュフロー	百万円	△ 13,885	8,231	3,500

■ シカゴ大豆相場



■ ICE菜種相場



■ オイルバリュー推移



■ 為替相場 (円/ドル)



■ バーム原油相場



■ カカオ相場

